

# Kの会 だより

第71号

発行 (株)中部人材育成センター Kの会事務局 岐阜市南鶉 4-47 加藤令子  
TEL 058-272-3872 FAX 058-276-2027 発行月 平成 22年 7月  
HP <http://www.fuseya.co.jp> E-mail [info@fuseya.co.jp](mailto:info@fuseya.co.jp)



## 『世界の工場』も、日本も異変！

安価で豊富な労働力で、「世界の工場」と呼ばれてきた中国。

しかし今、一人っ子政策によって高学歴化し、権利意識の高い若者が増え、大都会の華やかなイメージと工場での低賃金・単純労働のギャップに対する不満等々から、今春以降賃上げを求めて大規模なストを起こしたり、低賃金を悲観して自殺したり・・・。高度成長の一途であった中国社会に異変が起きている。

一方、我が国ではどうか。  
五月二八日アパレル大手のレナウンが中国の繊維メーカーの支援を受けることとなった。またゴルフクラブの大手メーカー本間ゴルフも中国企業の傘下に・・・と異変が起きている。

県内でも、研修生・実習生という名の中国人は、職場や住環境において珍しくなくなってきた。今後は、中国人の役員や管理職、社員が当たり前になってくるだろう。

ローソンでは、新卒採用は国籍を問わず募集し、その結果、新入社員の三分の一が外国人で、その半数以



上が中国人であるという。  
近い将来、「私の上司は中国人」になるかもしれない。

また、あの「楽天」も来期の新卒採用の三分の一は外国籍の予定であるそうだ。

そしてなんと、四月以降、楽天の公用語(社内語)は英語になった。会議の場も、資料も、食堂も会話も全部である。異変という異変だが、こういうことが徐々に日常化し「日本」の姿となるのである。

では、このような世の中で、中小企業は太刀打ちできるのかと不安になる。しかし世の中には「隠れた世界企業」の中小企業が一杯ある。技術の高さと企業規模は比例しない。特殊な技術は、中小のほうが持ち合せている場合が少なくない。その技術をもとに更なる技術開発や新たな分野への展開も可能となる。ONLY 1を指し、躍進の気が脈打つ新しい「日本」にしてほしい。  
とはいえ、経済状況は依然厳しい。一刻も早く梅雨明けの爽快感を味わいたいものである。



## 経営研究会開催のお知らせ

★時間が変わりました。涼しい午前中に行います。

Kの会

平成22年7月23日 (金)

午前10時～12時

伏屋事務所3階研修室

講師 伏屋 喜雄

『モンスター社員から会社を守る』我が社の労務管理



今まで平凡に過ごしていたのに、ある日突然モンスター社員が現れることがあります。

そんなときに慌てず、問題を起こさないために、労務管理を進めていく必要があります。

今回は、各企業で身近に起こっている労働問題の具体例を多く取り上げながら、その対処方法と未然防止策のあり方を中心に研修させていただきます。